

RI テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

創 立 / 1954 年 (昭和 29 年) 6 月 30 日

事務局 / 〒915-8522 越前市塚町 101 武生商工会館内

TEL. 0778-23-5210 ・ FAX. 0778-22-2333 E-mail: takefurc@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY

Rotary



例会日 / 毎週火曜日

例会場 / 武生商工会館

会 長 / 白崎 弘康

幹 事 / 三田村 士郎

会報委員長 / 柿谷 好彦

第 3165 回 例 会 記 録 令 和 2 年 8 月 25 日 (火)

本日出席会員 39 名

メイクアップ (前々回) 0 名

出席率 (前々回補正) 75.00%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会員総数
52 名

副会長挨拶 副会長 小林 幸一



皆さんこんにちは。今日は白崎会長が体調が悪いとの事なので、ピンチヒッターをさせていただきます。今日のプログラムが、織田桂蔵さんと、桶谷三枝子さんの新入

会員卓話という事で楽しみにしています。

最近、既に聞いているかと思いますが、福井の県庁が移転という事で再開発をされています。それに関わっておられる方からお聞きしましたが、お堀の中にある県庁を移転するという事で、「駅の近くに移転してはどうか」と話しています。1日 6,000 人くらいのサラリーマン達が行き来しているそうです。賑わいの為、中心に移転した方が良いのではと話されていました。私は、果たしてこれが将来の福井県にふさわしい街づくりになるのかと、疑問に思っています。10年後、20年後の事を考えて、街づくりを考えた方が良くないと思いません。それともう一つは、明光建商の塩谷さんがフェイスブックで武生新駅の工事の開通の写真を上げていました。それらを含めて武生の町づくりも含めて、新幹線の駅の名称はどうなるか分かりませんが、旧市街と新市街とをどう区別して街づくりをして行くのか、役割を創造しながら行うのが良いと考えます。

プログラム

新入会員卓話

「中国雑感」 織田桂蔵会員

1987年、今から33年前に初めて中国へ行ってか

ら、約30年間で200回以上中国に行きました。仕事



で行きますと1週間近く行きますから、1回20万円位かかりますから、約5千万位使いましたから、中国の話なら少しできますのでお話しさせていただきます。若い

時から中国に対しまして、もともと中国の思想が日本に入ってきたり来まして、商人の考え方や道徳の教えといった思想が伝わったという事で、中国の印象が非常に良いと思って中国に行きました。ところが、私が体験したこと、聴いたことはかなり違っていました。

記憶にありますのは、1989年の天安門事件で、物々しく嫌な印象を受けて帰って来ました。その後、会社の工場を中国にもって行きたいとの事で、工場の場所を探すのにあちらこちらに行きました。候補地として四川省から始まって、武漢へも行きました。日本では北京や上海が有名ですが、今では何やら武漢が世界中で一番有名になりました。

武漢という都市は二つの町が一つとなりまして、北に武昌という市がありまして、南に漢口という市がありこの二つの市が合わさって、武漢と言います。そういった所で候補地を探しまして、たまたま青島に行ったときに、ある方からこの様な話をお聞きした事があります。青島は魚が沢山取れる所で、中国から九州へ魚を輸出した時、サイズ、重さを話で決めて実際に輸出したら、箱の一番上だけが規格通りの魚で、後の箱はグチャグチャで、また「重量も足りないのでダメだ」と言うので、今度は魚の中に錆びたボルトを入れて重量合わせをします。今度は、「錆びたボルトが入っている」と言うので、次の魚には石が入っていて重量を合わせて来ます。冗談のような話でした。また、実際に体験したのですが、中国に行っている方は、経験していると思いますが、生水は要注意であり、おまけに出かけた当初は代金を渡して頼んだミネラルウォーターも単に水道水をペットボトルに入れたものを渡され、下痢を起こしたことも数回ありました。中国の山東省に合

弁会社を作る話になりましたが、大変な目にあいました。私の失敗談はまだまだありますが、一事が万事ということではなく、あくまでも私の経験上の話であることを理解して頂きたいと思います。ただ、結論と言えるのは、お国柄の違いをよく知った上で進めなければいけないということです。

「越前そば」 桶谷三枝子会員



我社は今年で創業 95 年になります。最初は今の自宅の柳町で地元に向けた営業をしていましたが昭和 55 年に姫川町に移転しました。その頃は私もできた商品

を 2 トントラックに載せて武生、鯖江、福井と配達をしていました。あの頃トラックの運転をしていた女性は珍しかったと思います。昭和 59 年に姑が亡くなり、それを機に、私も営業に出始めました。最初は石川、富山のスーパーで試食販売をしてそばの普及に努めました。それと同時に郵便局のふるさと小包にも参入しました。平成元年頃から関西中部の量販店の営業も始めましたので、その頃になると、毎日の様に出張して日本全国を飛び回り家にはなかなか帰らない嫁になってしまいました。自動車ですら年間 75,000 キロ走っていました。子どもや主人には大変淋しい思いをさせたのではと反省しています。

もともと「越前そば」と言うブランド名は当社だけで、他の独自のネーミングやそのまま「生そば」で販売していました。ふるさと小包や量販店の拡大で知名度が徐々に上がって行き、県全体の製麺所やお蕎麦屋さんが越前そばに名前を変え統一されてきました。そして県の特産品へと成長しました。我が社もそれを機にそばに商品を絞って生産する様になりました。関西の方へ営業し始めた頃は「越前そば」って知らんと言われましたが、試食して美味しかったのと女性の営業が来たのが珍しかったのもありましてほとんどの量販店の店頭と並んで行きました。それから中部、関東、中国、四国と販売エリアを伸ばして行きました。年越しそばでは日本で一番生産しているかもしれません。

福井県はそばを自社で挽く製麺所が多いです。挽きたての風味の良いそばを使うから福井県のそばは美味しいですね。我が社の会長は頑固が付くこてこての職人です。モノづくりには半端ない思い入れがある人で

す。そしてこだわりもついにそばの栽培まで手掛けてしまいました。平成 15 年に地元の休耕地を利用し栽培を始めました。2 年後には北海道の美瑛に栽培に行くと言って作付面積を広げていきました。現在地元福井と北海道で東京ドーム 86 個分の作付けをしています。今地元を今週で蒔きおえ、九月三日から北海道へ渡り刈り入れを始めます。刈取り最中でも台風や大雨や、霜の影響もありますので、豊作かどうかは刈り終えないとわかりません。北海道はもともと梅雨がなかったのですが、5,6 年前から梅雨があるようになり、5 月に種蒔きに行き帰るのは 7 月になってしまいます。温暖化の影響ですね。それでも昨年 6 次産業の認定を受けましたので、昔と比べ大変やり易くなって来ました。

そばは健康にとっても良いと言われていますが、そばの成分のそば特有のルチンが毛細血管の強化と安定、血行促進、生活習慣病の予防効果、血糖値を下げ、膵臓機能活性化、脳の記憶細胞活性化する特徴があります。植物繊維も多くビタミン、ミネラル等の栄養成分が多く含まれています。またルチンはビタミン C と一緒に摂取するとさらに効果が期待されます。おろしそばをたべて頂くとより効果的という事です。

ニコニコ箱・・・27,000 円 累計 176,500 円

- ・旧新人の織田桂蔵君の卓話に期待します。【石川満夫】
- ・暑い夏を懸命に生きる。 【渡辺佳男】
- ・織田君をお迎えして。 【辻岡俊三】
- ・織田会員、桶谷会員、卓話よろしくお願ひします。
- 【小林幸一】【河合敏一】【三村昌之】【三田村士郎】
- 【西藤浩一】【西本久美子】【吉田登喜男】
- ・早退させていただきます。 【西野昌美】【柿谷好彦】
- ・残暑が厳しいですが、みなさんお体ご自愛下さい。
- 【坂本陽子】
- ・卓話をさせていただきます。 【織田桂蔵】
- ・卓話記念に。 【桶谷三枝子】
- ・前回例会に欠席し、佐々木副委員長、大変ご迷惑をおかけいたし、おわび申し上げます。 【市川隆成】

例会変更情報／福井県内ビジター受付 (9月2日～9月15日)

ビジター受付はありません。

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(9月1日)例会	9月8日	9月15日→13日	9月22日
第一例会行事	会員卓話	移動例会 14:15～	休会
ロータリー情報	「伝統産業と仕事唄」	武生国際音楽祭 2020	
辻岡副委員長	吉田登喜男会員	越前市文化センター	